

地域の資源を活かし、育み、「水」「土」「里」の未来を拓く

秋田の山

あきたのとちかいりょう

土地改良



イメージキャラクター
みどりちゃん

VOL. 537

2025
11.25[Tue]



第25回「あきたの美しく豊かな農村づくり」写真コンクール入賞作品 優秀賞(秋田の農業&農村部門)「秋景」秋山 幸子 撮影場所:由利本荘市

目次

CONTENTS

令和7年度秋田県土地改良事業推進大会	2	あきた水土里ネット女性の会 初のブロック別活動	12
新たな土地改良長期計画が策定されました	4	つながる、広がる、農業農村の力。令和7年度男女共同参画	
4年連続の豪雨被害が発生	5	推進大会inくまもと	13
水土里ネット秋田の要請活動(国会議員・財務省・農林水産省)	6	第148回秋田県種苗交換会協賛事業「農業農村整備フェア」	14
第47回全国土地改良大会佐賀大会	8	第26回「あきたの美しく豊かな農村づくり」写真コンクール	14
令和7年度 秋季 農業農村整備に関する予算説明会	9	随想(北秋田市土地改良区 会計係 多賀谷 千愛美)	15
秋田市内7土地改良区合併予備契約調印式	9	連合会日誌	15
疏水フォーラムin広桃用水2025	10	水土里レポーター(仁井田郷土地改良区 工務主任 岡部 広樹)	16
令和7年度換地関係異議紛争処理実務研修会	10	3度目の挑戦での100kmマラソン完走!(佐々木 敦志)	16
令和7年度農業農村工学会東北支部秋田大会	11	リレー感想文	16
令和7年度東北・北海道連絡協議会 女性活躍推進会議	11	編集後記	16

災害対策支援や農業生産基盤等の確立を(国への要望決議を採択)



11月2日(日)、湯沢文化会館において第148回秋田県種苗交換会の協賛行事として、本会主催による「令和7年度秋田県土地改良事業推進大会」が会員及び関係者など約800名のご出席をいただき開催された。

地域の要望に応え、農業農村整備事業を計画的かつ円滑に実施するために必要な予算の確保や自然災害対策、スマート農業に対応した基盤整備事業、水土里ビジョンの策定や多面的機能支払交付金に対する支援充実を国に求める大会決議を採択した。

大会では、松田会長が「今夏の集中豪雨により被災されました皆様にご心よりお見舞いを申し上げます。土地連としても復旧に向けて最大限頑張っているところ。どうか心を折らさずに、引き続き復旧にご尽力をお願い申し上げます。農業環境は社会環境を構成するひとつであり、農業環境がうまく作動してこそ安心した食生活となる。農業環境が今以上良くなるように、見直しが必要な時期にきている。土地改良事業が持つ農業環境に果たす役割を今こそ再認識し、土地改良事業が農業を支える基盤であることを共通認識として、農業者との思いを一つにした」と挨拶した。



▲松田会長の挨拶

表彰では、秋田県土地改良功労表彰で1団体2個人、秋田県土地改良事業功績者表彰で8個人が表彰された。

また、湯沢市協賛会会長の佐藤一夫湯沢市長から歓迎のことばをいただいたあと、ご来賓の鈴木健太秋田県知事(代読：大石勝農林水産部次長)、永井春信東北農政局長(代読：荻野憲一東北農政局次長)、御法川信英衆議員議員、村岡敏英衆議院議員、工藤嘉範秋田県議会議員、小松忠彦秋田県種苗交換会会頭からご祝辞を頂戴した。二階俊博全国土地改良事業団体連合会会長をはじめとする関係者の方々からは祝電を頂戴した。



▲佐藤湯沢市長の歓迎挨拶

議事に入ると、湯沢雄勝土地改良区瀬川等理事長が議長として進行を務め、秋田県農林水産部の小野寺平崇農地整備課長による「秋田県農業農村整備事業の現状報告」に続いて、湯沢雄勝土地改良区沼倉美知子理事が大会決議を読み上げ、満場一致で採択された。

議事終了後には、進藤金日子参議院議員より、「最近の情勢について」と題して貴重な講演をいただき、盛会のうちに閉会した。



▲瀬川議長による議事進行



▲小野寺課長の情勢報告



▲沼倉理事による大会決議文朗読



▲進藤議員の講演

表彰された団体・個人は次のとおり。

秋田県土地改良功労表彰

【知事表彰】

- <団体> 仙北市黒倉堰土地改良区(理事長 佐藤 乃三)
<個人> 佐々木良英(左手子土地改良区理事長)
児玉 俊一(三種町土地改良区事務局長)



秋田県土地改良事業功績者表彰

【会長表彰】

- 櫻田 悦郎(秋田県能代地区土地改良区副理事長)
鈴木 太郎(秋田市上新城土地改良区副理事長)
宮川 東典(馬場目川水系土地改良区理事)
金谷 健二(大瀧土地改良区事務局長)
橋村 誠(大仙市大曲土地改良区総括監事)
後藤 久司(仙北市神代土地改良区理事)
小田嶋勝郎(秋田県南旭川水系土地改良区理事)
柴田 勝元(湯沢雄勝土地改良区理事)



▲受賞された皆さまと松田会長

大会決議

- 地域の要望に応え、農業農村整備事業を計画的かつ円滑に実施するために必要な予算を安定的に確保すること
併せて、農業構造転換集中対策及び第1次国土強靱化実施中期計画に関わる予算を十分に確保すること
- 生産性の向上と生産コストの低減のために、スマート農業の導入に向けた水田の大区画化や情報通信環境の整備等を一層推進すること
また、農地中間管理機構による担い手への農地集積・集約化を引き続き推進すること
- 農業生産活動の基盤となる土地改良施設の機能を安定的に発揮させるために、再生可能エネルギー、ICT、AI等を活用した維持管理の省力化・高度化等を図る取り組みを一層推進すること
- 大規模自然災害からの復旧・復興を早急に進めるとともに、農業・農村の防災・減災力の強化に向けて、農業水利施設の更新・長寿命化や豪雨・耐震化対策を実施するための支援を一層充実すること
- 高い公共性・公益性を有する土地改良施設や農地・農業用水等の地域資源の適切な保全管理に向けて、水土里ビジョンの策定や多面的機能支払交付金による地域共同活動に対する支援を一層充実すること

令和7年11月2日

秋田県土地改良事業推進大会

新たな土地改良長期計画が策定されました

令和7年9月12日、1年前倒しで新たな「土地改良長期計画」が閣議決定されました。新たな計画では、食料自給力の確保を実現し、将来にわたる食料安全保障の確保、更には、農業の有する多面的機能の発揮を目指すため、4つの政策課題を掲げるとともに、それに対応した5つの政策目標を定め、その実現に向けて令和7年度からの5年間で集中的に取り組むとしています。

新たな「土地改良長期計画(令和7～11年度)」の全体概要 ～食と暮らしを支える水と土の未来のために～

農業・農村をめぐる情勢及び課題

- ・食料安全保障を取り巻く環境の変化
- ・農業者の減少に伴う農業生産活動等への影響
- ・農業生産基盤等の脆弱化
- ・自然災害リスクの増大
- ・持続可能な環境配慮の主流化
- ・農業・農村の多様性への配慮
- ・建設業等を取り巻く情勢の変化

土地改良事業の基本的な方向性

- 食料・農業・農村基本法の改正 (令和6年6月5日施行)
- 食料・農業・農村基本計画の策定 (令和7年4月11日閣議決定)
- 土地改良法の改正 (令和7年4月1日施行)
- 第1次国土強靱化実施中期計画の策定 (令和7年6月6日閣議決定)

食料自給力の確保! 資する農業農村整備

農業生産基盤の整備・保全

農村の振興

政策課題1: 生産性向上等に向けた生産基盤の強化

農地の集積・集約化及びスマート農業の推進に向けた基盤整備による生産コスト低減【政策目標1】

- ・担い手への農地の集積・集約化及びスマート農業技術の導入による生産コストの低減を図るための農地の大区画化、管理作業の省力化に資する基盤整備等の推進

国内の需要等を踏まえた生産の拡大【政策目標2】

- ・国内の需要等を踏まえた麦・大豆・園芸作物等の生産拡大のための水田の凡用化、畑地化、畑地・樹園地の高機能化等の推進

政策課題2: 農業用水の安定供給及び 良好な排水条件の確保

農業水利施設の戦略的な保全管理による持続的な機能確保【政策目標3】

- ・基幹から末端までの農業水利施設の機能保全に向けた施設の適時適切な補修・更新、適切な保全管理の推進
- ・施設の集約・再編、省エネ化、再生可能エネルギー利用、ICT導入等による維持管理の効率化・高度化の推進

政策課題4: 農村の価値や魅力の創出

農村における所得の向上と雇機会の創出、農村に人が住み続けられる生活環境の確保、多様な人材が関わる機会の創出【政策目標5】

- ・生産基盤と生産・販売施設等の総合的な整備を通じた所得の向上と雇機の創出、生活インフラの整備の推進
- ・多様な人材の参画等を通じた農地・農業水利施設等の保全管理の体制強化、環境負荷低減の取組等の推進

農村協働力

環境と調和のとれた持続可能な農業生産

政策課題3:増大する災害リスクに対応するための農業・農村の強靱化

気候変動等により激甚化・頻発化する災害に対応した防災・減災対策の推進【政策目標4】

- ・防災重点農業用ため池の防災工事等の集中的かつ計画的な推進
- ・気候変動等を踏まえた農業水利施設の整備、農地・農業水利施設を活用した流域治水の取組、濁水・高温対策、農業水利施設の地震対策、農道及び農業集落排水施設の強靱化等の推進

食料安全保障の確保

多面的機能の発揮

大規模自然災害への対応

1. 東日本大震災からの復旧・復興
2. 令和6年能登半島地震と豪雨災害からの復旧・復興
3. 大規模自然災害への備え

計画の円滑かつ効率的な実施に当たって必要な事項

1. 環境と調和のとれた持続可能な農業生産への対応
2. 土地改良区の運営体制の強化
3. 技術開発の促進と普及、人材の育成
4. 入札契約の透明性、公平性及び競争性の向上と品質確保の促進
5. 関連施策や関係団体との連携強化
6. 国民理解の醸成

4年連続の豪雨災害が発生

秋田県では、8月から9月にかけて県内各地で豪雨による災害が発生し、県全体では農林水産関係被害額が100.6億円、うち農地・農業用被害額が76.7億円となっております。(9月末時点)

9月6日、進藤金日子参議院議員が、8月に発生した豪雨により被災した仙北市桧木内地区を訪問されました。

秋田県、仙北市、秋田県土地連のほか、地元の農業関係者が集まり、田口仙北市長からの状況説明のあと、今後の復旧・復興に向けた課題や対応について意見交換を行いました。その後、農地へ土砂が流入した状況など、被災現場を視察されました。



▲仙北市との意見交換の状況



▲現地視察(上桧木内地区)

水土里ネット秋田では、今年の豪雨災害についても、秋田県災害支援協議会からの支援要請を受け、仙北市、鹿角市、北秋田市、五城目町の農地・農業用施設災害の災害復旧事業の査定設計書作成について、支援を行っております。

早い地域では11月上旬から災害査定が開始され、年内いっぱい災害査定が行われる予定となっております。

本会では、県、市町村、土地改良区と連携しながら、現地調査、査定設計書作成に対して総力を挙げ、1日も早い復旧・復興を目指して取り組んでまいります。



▲農地の被害状況と現場調査状況

— 秋田県内における農業農村整備関連予算の確保等に向けて —

秋田支部

7月28日(月)～29日(火)に土地連秋田支部の中田支部長はじめ、支部役員総勢9名は、複合型生産構造への転換やスマート農業の導入にあたり、基盤整備は土台となることから、ほ場整備事業への十分な予算確保と併せ、農家が持続可能な農業経営が行える生産コストを考慮した米価形成等について要請した。

要請先は以下の通り

- ・農林水産省農村振興局 松本局長、青山次長、石川整備部長ほか、関係課・室長
- ・御法川信英衆議院議員、富樫博之衆議院議員、福原淳嗣衆議院議員、石井浩郎参議院議員、進藤金日子参議院議員



▲松本局長への要請



▲富樫議員への要請



▲福原議員への要請



▲進藤議員への要請

山本支部

7月31日(木)～8月1日(金)に土地連山本支部の大塚支部長はじめ、支部運営委員総勢9名は、持続的で効率的な生産体制の確立・転換を図るため、農業農村整備を計画的かつ着実に推進するにあたり、別枠予算も含めた安定的予算の確保と、土地改良区運営基盤の強化に対する支援を要請した。

要請先は以下の通り

- ・農林水産省農村振興局 松本局長、青山次長、石川整備部長ほか、関係課・室長
- ・福原淳嗣衆議院議員、石井浩郎参議院議員、進藤金日子参議院議員、緑川貴士参議院議員



▲松本局長への要請



▲福原議員への要請



▲進藤議員への要請

鹿角支部および大館・北秋田支部

9月10日(水)～9月11日(木)に土地連鹿角支部の田口支部長、大館・北秋田支部の畠山支部長をはじめ総勢11名は、地域が持続的に発展していくため、農業農村整備事業の安定的な予算の確保と併せ、土地改良区の運営体制の強化に対する支援を要請した。

要請先は以下の通り

- ・農林水産省農村振興局 松本局長、青山次長、石川整備部長ほか、関係課・室長
- ・福原淳嗣衆議院議員、石井浩郎参議院議員、進藤金日子参議院議員



(鹿角支部)

▲松本局長への要請



(大館・北秋田支部)

▲福原議員への要請



(鹿角支部)

▲石井議員への要請



(大館・北秋田支部)

▲進藤議員への要請

土地連

10月29日(水)に土地連の松田会長をはじめ役職員4名と、多面的機能支払交付金活動の組織代表として、浅内地区広域協定運営委員会大塚会長、鶴養農村景観保全会石塚代表は、(1)令和8年度農業農村整備事業関係予算について、令和7年度補正も含め安定的かつ十分な確保、(2)スマート農業の導入に向けた水田の区画拡大や情報通信環境の整備等の計画的な実施、大規模自然災害からの復旧・復興、防災・減災力の強化のための予算確保、(3)水土里ビジョンの策定や多面的機能支払交付金による地域共同活動の実施に必要な予算の確保を要請した。

要請先は以下の通り

- ・財務省 宇波主計局長、宮下主計官
- ・農林水産省農村振興局 松本局長、青山次長、石川整備部長ほか、関係課・室長
- ・御法川信英衆議院議員、富樫博之衆議院議員、福原淳嗣衆議院議員、石井浩郎参議院議員、進藤金日子参議院議員



▲宇波主計局長への要請



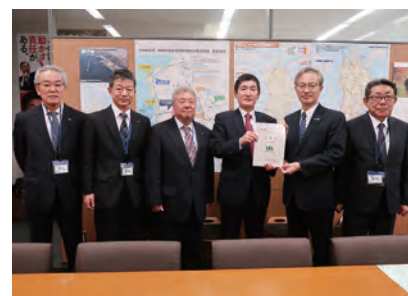
▲松本局長への要請



▲御法川議員への要請



▲富樫議員への要請



▲福原議員への要請



▲進藤議員への要請
(11/2土地改良事業推進大会会場にて)

第47回全国土地改良大会佐賀大会

～水を利して土を活かす さがで語ろう郷里の未来～

10月15日(水)、「第47回全国土地改良大会佐賀大会」が、佐賀県の「SAGAアリーナ」で開催され、全国の土地改良関係者約4,500人が参加し、農業の未来を見据えた農業農村整備事業の役割や、農地や農業用水等の地域資源を次世代へ引き継いでいく重要性について語り合った。

大会は、「水を利して土を活かす さがで語ろう郷里の未来」をテーマに、全国土地改良事業団体連合会、佐賀県土地改良事業団体連合会の主催で開催された。

佐賀県土連の田島健一会長の「開会挨拶」に続いて、全土連の二階俊博会長からは「土地改良が築き上げてきた水・土・里を次世代へと引き継いでいくことを誓う、『闘う土地改良』の精神で、更なるご尽力を賜りたい」と主催者挨拶があり、山口祥義佐賀県知事、坂井英隆佐賀市長から歓迎の言葉、青山健治農林水産省農村振興局次長、宮原真一佐賀県議会議長、全国水土里ネット会長会議顧問の進藤金日子参議院議員からそれぞれ祝辞があった。

大会では、土地改良事業功績者表彰が行われ、秋田県からは、山内幸雄監事(北秋田市土地改良区理事長)が全国土地改良事業団体連合会会長賞を受賞した。

来年は11月に奈良県の「奈良県コンベンションセンター」で開催されることが発表された。



▲二階全土連会長の挨拶



▲進藤金日子参議院議員の挨拶



▲秋田県参加者(総勢28人)



▲大会会場内



▲全土連会長表彰 山内幸雄監事

令和7年度

秋季

農業農村整備に関する予算説明会

10月21日(火)に県庁第二庁舎において、農業農村整備に関する予算説明会が開催された。農林水産省からは、農村振興局整備部石川部長、防災課上岡課長補佐、水資源課植原係長がお越しになり、令和8年度の農業農村整備事業関係予算概算要求の概要についてご説明いただいた。農業の構造転換や国土強靱化等を図るための農業農村整備事業を計画的に推進することを目的とし、令和7年度当初予算の4,464億円に対し、118.3%増の5,281億円を要求している。

説明会へは農林水産省東北農政局、秋田県農林水産部関係部署、市町村、土地改良区、土地改良関係団体などから、約140人が参加した。

また、予算説明会後にアキタパークホテルにおいて意見交換会が開催され、農林水産省に対して、国営事業で整備したシステムの更新支援や、異常気象に対する予算拡充など、出席の土地改良区理事長などから様々な提案・要望が出され、活発な意見交換会となった。



▲石川整備部長の挨拶



▲意見交換会の様子

秋田市内

7土地改良区合併予備契約調印式



調印した7改良区理事長と青木産業振興部長

7月30日(水)に秋田市内7土地改良区の合併予備契約調印式がアキタパークホテルにて開催された。各土地改良区の総会や総代会での合併決議後、令和8年1月30日(金)に新設合併で「秋田市土地改良区」が発足する見込みとなっている。合併する土地改良区は、秋田市豊岩中央、秋田市上北手猿田、仁井田堰、秋田市上北手小山田、河辺、河辺郡芝野堰、左手子の7土地改良区。

調印式には関係者約50名が出席し、各土地改良区の理事長が秋田市産業振興部青木巖部長の立ち会いの下、合併予備契約書に署名、押印した。

7土地改良区は今後、解散の上、新土地改良区が業務を引き継ぎ、本所は仁井田堰土地改良区事務所の建物を使用する予定となっている。



小林秋田地域振興局長の祝辞



松田会長の祝辞

疏水フォーラム in 広桃用水2025

9月3日(水)・4日(木)の2日間、群馬県前橋市にて「疏水フォーラム in 広桃用水2025」が開催された。3日のフォーラムはグリーンドーム前橋で行われ、約500名が参加した。フォーラム終了後、前橋商工会議所にて情報交換会が行われた。4日には現地研修を行い、管内の土地改良施設の視察や、広大な疏水を活かしたまちづくりについて理解を深めることができた。

プログラム

- ◆開会宣言 群馬県土地改良事業団体連合会会長 熊川 栄 氏
- ◆主催者挨拶 広瀬桃木両用水土地改良区理事長(疏水ネットワーク会長) 女屋 一之 氏
- ◆開催地挨拶 前橋市長 小川 晶 氏
- ◆来賓祝辞 群馬県知事 山本 一太 氏
都道府県水土里ネットワーク会長会議顧問 進藤 金日子 氏
農林水産省関東農政局長 安東 隆 氏
- ◆基調講演 「疏水をとりまく情勢について」
農林水産省農村振興局整備部水資源課長 瀧川 拓哉 氏
- ◆対 談 「疏水の新たな価値の創造にむけて」
株式会社ジンスホールディングス代表取締役 CEO 田中 仁 氏
×
株式会社ランドスケープ・プラス代表取締役 平賀 達也 氏
- ◆講 演 「広瀬用水の歴史」
群馬地域学研究所代表理事 手島 仁 氏
- ◆対 談 「広瀬川対談」～市街地を流れる疏水管理～
仙台東土地改良区(宮城県)×広瀬桃木両用水土地改良区(群馬県)
- ◆閉会挨拶 全国土地改良事業団体連合会常務理事 市村 和寿 氏



▲会場の様子



▲進藤金日子参議院議員による来賓祝辞



▲農林水産省農村振興局整備部水資源課長 瀧川拓哉氏の基調講演



▲土地改良区対談の様子
【左】広瀬桃木土地改良区(群馬県)
【右】仙台東土地改良区(宮城県)



▲情報交換会の様子



▲現地研修の様子

令和7年度 換地関係異議紛争処理実務研修会

9月30日(火)、秋田市のホテルメトロポリタンにて、北海道・東北ブロック換地関係異議紛争処理実務研修会が開催され、東北・北海道から54名が参加した。

本研修会は、土地改良区機能強化支援事業の実施要綱に基づき、土地改良換地に関する異議紛争の未然防止及び早期解決を図るため、全国7ブロックにて開催されている。

開催にあたり主催者である全国水土里ネットワーク中央換地センター 小笠原所長のあいさつのあと、農林水産省農村振興局土地改良管理課 藤田調査係長、東北農政局土地改良管理課 岩淵課長、来賓の秋田県農林水産部農地整備課 小野寺課長、水土里ネットワーク秋田 舛谷専務理事がそれぞれあいさつした。

その後、藤田調査係長からは「換地を取り巻く状況について」と題し発表があり、異議紛争処理事例発表では、水土里ネットワーク青森 山川グループリーダーと秋田県山本地域振興局 畠山主査からの事例が発表された。

10月1日(木)は換地業務に関する意見交換が活発に行われ、最後に全国水土里ネットワーク中央換地センターの報告が行われ、閉会した。



▲主催者あいさつ



▲事例発表

令和7年度農業農村工学会東北支部秋田大会

令和7年11月6日(木)～7日(金)の2日間、ANAクラウンプラザホテル秋田において、令和7年度農業農村工学会東北支部秋田大会が開催された。1日目は総会・授賞式・講演会・研究発表会などが行われた。研修発表会では、本会職員2名が発表を行った。総会終了後には情報交換会が開かれ、県内外のNN関係職員同士で活発な意見交換が行われた。2日目は支部研修会と地方講習会が行われ、支部研修会のロールセッションには、かづの土地改良区の根本事務局長がパネラーとして登壇し、土地改良区における女性活躍について意見を述べられた。

研修発表会の様子(本会職員)

◆発表者

管理情報部 技術・調整班長
(兼) 水土里情報センター室長
柴田 恭司



◆講演題目

秋田県ため池保全サポート
センターの取組事例について

◆発表者

農地整備部 農地整備班
副主幹
細田 鉄也



◆講演題目

中山間地における用排兼
水路の設計事例について



▲表彰の様子



▲特別講演を行う秋田県立大上田教授



▲研究発表会の様子



▲ロールセッションの様子

令和7年度

東北・北海道土地連連絡協議会 女性活躍推進会議

10月22日(水)「岩手県 盛岡市 マリオス」において、東北・北海道土地連連絡協議会 女性活躍推進会議が開催され、東北・北海道の女性の関係者ら約90名が参加し、うち秋田県からは16名が参加した。

始めに、東北・北海道土地連連絡協議会 高橋会長(岩手県土地改良事業団体連合会長)の挨拶に続き、基調講演として、「女性がリーダーになるということ」と題し、株式会社北日本銀行 早川智子執行委員から講演をいただいたあと、「理事という立場から見た景色～女性の視点から～」と題し、岩手県内の女性理事3名からお話を伺うことができた。その後、全国土地改良事業団体 室本専務理事より(1)土地改良区の理事に必要な項目(2)土地改良概論(3)土地改良区をとりまく情勢(4)男女共同参画の意義について講義が行われた。

最後に、「女性活躍の視点から誰もが働きやすい職場を考える」と題し、室本専務理事がコーディネーターを務め、各県の女性理事の方々をパネリストとして、意見交換が行われた。秋田県からは男鹿市土地改良区 真壁良子理事が参加し、自身の体験談などをお話いただいた。

23日(木)には現地研修が行われ、岩手県の伝統的な和紙作り体験や、平良木地区のほ場整備施設の見学等を行った。

今回の研修では、女性ならではの地域のコミュニティや能力を発揮していくことが女性活躍を推進していく上で大切だと改めて学んだ。



▲高橋会長の挨拶



▲真壁理事による発表



▲現地研修の様子(平良木地区)

あきた水土里ネット女性の会 初のブロック別活動

あきた水土里ネット女性の会(会長 根本由紀子)では、今年度より県北、中央、県南の3ブロックに分かれ女性の会役員が中心となりそれぞれ活動を実施した。

例年、研修会等は、秋田市で開催されており、遠方の方や職員が1人だけの土地改良区だと活動に参加したいと思ってもできない状況であり、尚且つ地域ごとに参加しやすい時期なども異なっていた。

このような実情を踏まえ、本会の活動に参加しやすい体制を作ることや、より自主性の高い組織にするため今年度よりブロック別活動を行った。各ブロックでの活動は下記のとおりとなる。

中央 ブロック 活動

実施日 令和7年9月24日(水)

実施場所 秋田市 **参加人数** 27名

実施内容 ワークショップ(マーブルアート教室)及び意見交換会

感想 今年度より、初の試みとしてブロック別活動を実施し、最初は不安だったが参加者全員が楽しみながら世界に1つだけのマーブルアート作品を作ることができ有意義な活動となった。



▲中央ブロック活動の詳細について



県南 ブロック 活動

実施日 令和7年10月2日(木)

実施場所 大仙市 **参加人数** 36名

実施内容 「土地改良区」の啓発活動に関する意見交換会

感想 「男女共同参画推進大会inかづの」の報告、会員の自己紹介、改良区の啓発等について意見交換を行い、他管内改良区、女性理事との交流を通して「土地改良区は組合員のために、地域農業のために」を再確認することができ、いい刺激を受けた。



▲県南ブロック活動の詳細について



▲県南ブロック活動成果について



県北 ブロック 活動

実施日 令和7年10月30日(木)

実施場所 北秋田市 **参加人数** 30名

実施内容 軽運動、サシェ作り及び意見交換会

感想 役員で協力し無事に当日を迎えることができて良かった。また、参加者の方からは普段交流がない方ともお話しできて良かったとの声があり、今後もこの研修を続けていきたいと思った。



▲県北ブロック活動の詳細について



つながる、広がる、農業農村の力。

令和7年度 男女共同参画推進大会 inくまもと

～私たち、ひとりひとりが輝く水土里ネットの未来をつくろう～

全国水土里ネット女性の会及びくまもと水土里ネット女性の会主催の「男女共同参画推進大会 inくまもと」が11月4日(火)、5日(水)、熊本市のメルパルク熊本で開催され、全国から関係者260名が集い、盛大に開催された。

本大会は、農業農村整備に携わる全国の女性が一堂に集い、男女共同参画推進の意義を深く理解するとともに、女性が活躍できる環境づくりを支援し、ひとりひとりが活躍できる持続可能な農業農村の実現を目的として開催され、令和5年度に本県鹿角市で開催された大会に次いで2回目の開催である。

大会では、主催者挨拶としてくまもと水土里ネット女性の会 森下会長、全国水土里ネット女性の会 西会長の挨拶に続き、来賓挨拶として九州農政局 小野寺次長、県農林水産部 中島部長、水土里ネット熊本 竹崎会長、全国水土里ネット 進藤会長会議顧問(代読：豊政策秘書)から祝辞をいただいた。

基調講演では、福岡県みやま市農業委員会会長で山川地区土地改良区理事である徳永順子氏より「やる気スイッチは、押しつ押しされつ～共に考え、共に働いた分、地域は変わっていく～」と題し、自らが実践する遊休農地を解消する取り組みや活動を進める上でのポイントをお話いただいた。続けて、パネルディスカッションでは、パネラーとして水土里ネット長崎、水土里ネット熊本より女性理事2名、県農地整備課長、くまもと水土里ネット女性の会 前会長が登場し、「誰もが活躍できる地域農業に向けて水土里ネットができること」などセッション毎に活発な意見交換がなされた。

翌5日は、現地視察を行い、熊本市内コースと阿蘇コースに分かれ熊本ならではの雄大な自然環境や熊本県地震から復興までの道のり、地震から復旧した大切畑ダムなどを視察することができた。

今回、秋田県からは、女性の会役員7名、事務局1名の計8名が参加し、この大会を通して女性が持つ力など再確認できた。

また、前回秋田県で開催した全国大会が途切れることなく、このように熊本県で開催されたことに感謝するとともに、農業農村整備に携わる全国の女性の皆さんと交流することができ、有意義な大会となった。



森下くまもとと女性の会長挨拶



西全国水土里ネット女性の会長挨拶



秋田県参加者集合写真



▲集合写真(大会参加者)

第148回 秋田県種苗交換会 協賛事業「農業農村整備フェア」

期間・場所 ○期間 10月31日(金)～11月4日(火) ○場所/湯沢市総合体育館

集 計 ○アンケート協力者…249件
○来場者数…約1,000名 (会場全体:56万人)

今年度も種苗交換会メイン会場である湯沢市総合体育館への出展となり、県内外から農業関係者や一般の方々にご来場いただき、賑わいをみせました。

今年度の「農業農村整備フェア」では、土地改良事業団体連合会のことを知ってもらうためにアンケートに加え、パネルを見ながらクイズに答えてもらう新たな試みをしました。

多くの方々にアンケートにご協力頂き、回答者への粗品として会名入りボールペンを配布しました。

なお、アンケート調査結果を基に考察や分析を行い、今後の方向性について実行可能な取り組みを見だし、来年以降のNNフェアに活かしていきたいと考えております。

また、昨年同様、国・県・水土里ネット秋田のパネルや農業農村整備関係の映像上映も行い、多くの方々に秋田県の農業農村整備事業について少しでも理解を深めて頂く貴重な機会となりました。



第26回

「あきの美しく豊かな農村づくり」 写真コンクール

募集中

応募要項・
応募票はこちら→



応募テーマ

- (1) 農地や農作業の風景
- (2) 四季折々の豊かな農村景観
- (3) ため池、頭首工、水路等の土地改良施設
- (4) 農業体験をしている生き生きとした子どもたちの様子
- (5) 朝市や地域の祭りの様子等
農業・農村の魅力ある写真とします。

締め切り間近

応募締切

令和7年
12月24日(水)

(当日消印有効)

応募部門

応募部門は、次の3部門です。

- (1) 秋田の農業&農村部門
 - ① 春・夏の章(4月～9月頃に撮影された写真)
 - ② 秋・冬の章(10月～3月頃に撮影された写真)
- (2) 「守りたい秋田の里地里山50」部門
「守りたい秋田の里地里山50」に認定された地域に関係する作品かつ応募テーマに沿った作品であることとします。
- (3) SNS秋田の農業&農村部門
応募テーマに当てはまる作品とし、Instagramで応募を受け付けます。



▲第25回「あきたの美しく豊かな農村づくり」写真コンクール受賞作品▲

日々徒然

北秋田市土地改良区 会計係

多賀谷 千愛美



最近、工事の影響で遠回りの道を通勤で使うようになりました。道沿いには緑が多く、木々や畑の風景が広がっており、平日の朝に眺める何気ない景色でも心が穏やかになります。普段は効率を優先し同じ道ばかり通りがちですが案外悪くないかもと思えてしまうのが不思議です。

わたしには、小学1年生になる7歳の娘と、4歳の息子がいます。言うまでもなく、毎日あれやこれやと大騒ぎで、子どもたちが中心の生活を送っています。つい口うるさく言ってしまうことも多々ありますが、子供たちの考え方や発言から成長を感じ



る場面も多く感慨深いものです。休日の天気の良い日は、自宅から車で15分ほどの阿仁町へよく遊びに行きます。阿仁合駅周辺には、「ワロック」と呼ばれる絵が描かれた石が隠されていて、宝探しのような楽しみもあります。駅を中心にぐるりと一周できる散策ルートがあり、裏手には河川敷の公園があります。散策した後は駅に戻りアイスを食べるのが子供たちとのいつものお約束です。子供たちが大人になったとき、自分の生まれ育った場所を『いいところだな』と感じてもらえたらと思います。日々の何気ない景色や時間の中に、心の余裕や豊かさを見つけれれる毎日でありたいです。

連 合 会 日 誌

11月11日	平鹿支部土地改良関係役員講習会	横手市「よこてシャイニーパレス」
11月13日	令和7年度秋田県農林水産フォーラム	秋田市「ANAクラウンプラザホテル秋田」
11月13日	雄勝支部土地改良関係団体役員講習会	湯沢市「湯沢グランドホテル」
11月17日	山本支部土地改良関係団体役員講習会	大潟村「ホテルサンルーラル大潟」
11月17日	仙北支部土地改良関係団体役員講習会 ～ 18日	仙北市「角館温泉 花葉館」
11月18日	由利支部土地改良関係団体役員講習会	由利本荘市「本荘グランドホテル」
11月19日	令和7年度第4回監事会及び中間監査	本会「第1会議室」
11月20日	鹿角、大館・北秋田支部土地改良関係団体役員講習会 ～ 21日	鹿角市「ホテル鹿角」
..... 今後の行事予定		
11月27日	仙北支部土地改良関係団体役員講習会	大仙市「グランドパレス川端」
11月28日	秋田支部土地改良関係団体役員講習会	秋田市「イヤタカ」
12月4日	北秋田市土地改良区合併10周年記念式典	北秋田市「市民ふれあいプラザコムコム」
12月5日	秋田支部土地改良関係団体役員講習会	秋田市「イヤタカ」
12月19日	令和7年度第5回監事会	本会「第2会議室」
12月19日	令和7年度第3回理事会・役員会	本会「第1会議室」



四ツ小屋の隠れ家的カフェレストラン

水土里レポーター：
仁井田堰土地改良区 岡部 広樹

当区は7年前に大字仁井田から四ツ小屋の住所へ移転しておりますが、その四ツ小屋にある人気のお店「ふあーむハウス旬菜^{しゅんな}」を紹介いたします。

店名のとおり地元で採れた旬の野菜を使用したおまかせランチが看板商品です。お近くへお越しの際はベジランチ協力店にもなっている「旬菜」でヘルシー&おいしーランチはいかがでしょう？



リレー vol.43
感想文

毎号、見ていて、県内で行われている事業や活動について理解を深め、大変勉強になります。また、掲載されている写真がどれも美しく次号を見るのが楽しみです。

農地整備部 換地2班
渡部 風介

編集後記 早いもので今年も残りわずかとなりました。今年は県内各地での渇水、記録的大雨による災害、更には全国的に熊の被害が過去最多となるなど例年にないほど様々な困難があった年ではないでしょうか。

私事ですが、先日、男女共同参画推進大会に参加するため、熊本県へ行ってきました。この大会は令和5年度に秋田県で第1回目が行われた大会です。当時は、大会担当として本会女性の会の皆さんと一から大会を作りあげたこともあり私にとって特別な大会と言えます。大会の概要は本号に記載しておりますが、今回は主催者側としてそして今回は参加者側としてそれぞれ違った視点から見える気付きがありました。

また、全国の農業農村整備に携わる女性が一堂に集まることで更なるネットワークの確立が行えた素晴らしい大会でした。

今回の号で年内最後の発行となりますが、会員並びに関係者の皆さまにおかれましては、来年も水土里ネット秋田をどうぞよろしくお願いいたします。

(政策・広報班 寺澤)

3度目の挑戦での
100kmマラソン完走!

農地整備部換地1班 佐々木敦志

令和7年9月28日(日)に開催された秋田内陸リゾートカップ(第33回)100kmチャレンジマラソンに挑戦しました。

一昨年の初挑戦では、76km地点で無念のリタイア。昨年は完走できたものの北秋田市交流センター前のゴール制限時間(17時30分)を超えてしまい、今年が3回目の挑戦でした。

家族や沿道の応援に背中を押され、制限時間の6分前に無事にゴールすることができました。

8月中旬に発生した豪雨で被災した仙北市と北秋田市を結ぶコースでしたが、大変な思いをしながらも大会を開催してくださった仙北市、北秋田市、社会福祉法人秋田県民生協会に感謝しております。

来年も100kmマラソン完走を目標に、これからも努力を続けたいと思います。

